

1 **調査名称**：中京都市圏総合都市交通体系調査

2 **調査主体**：豊田市

3 **調査圏域**：中京都市圏（愛知県全域、岐阜県南部、三重県北西部の96市町村）

4 **調査期間**：平成26年度

5 **調査概要**：

豊田市では昭和46年の第1回中京都市圏パーソントリップ調査以来、パーソントリップ調査等のデータを活用し、豊田市における総合都市交通体系などの確立に努めてきた。今後においても、多核ネットワーク型都市構造及び緑につつまれた一体的市街地の確立、環境モデル都市としてふさわしい都市構造の確立を推進するために、社会経済情勢の変化や複雑多岐な交通問題への対応は重要課題であり、将来交通需要や土地利用計画を見据えた、新たな総合的な都市交通施策の展開が望まれている。

このような状況の中、豊田市における交通施策を作成するための基礎資料として、平成23年度に実施された第5回中京都市圏パーソントリップ調査に合わせた実態調査を実施し、平成24年度から平成25年度にかけて、現況交通実態の把握（現況分析）と交通問題の取りまとめを行った。

平成26年度の業務では過年度の成果を踏まえて、将来交通需要予測、都市交通マスタープランの策定、パーソントリップデータ閲覧システムの整備を行った。

I 調査概要

1 調査名： 中京都市圏総合都市交通体系調査

2 報告書目次

第1章 豊田市の現状

- 1-1 豊田市の社会経済情勢
- 1-2 豊田市の交通特性
- 1-3 上位計画・関連計画
- 1-4 交通政策に対するニーズ

第2章 将来交通需要予測

- 2-1 将来交通需要予測の概要
- 2-2 骨格交通体系の作成
- 2-3 豊田市の趨勢における将来交通需要
- 2-4 将来交通需要予測結果（趨勢ケース）の概要
- 2-5 将来需要予測結果（趨勢ケース 休日）の概要
- 2-6 時間帯別交通量配分に関する検討

第3章 豊田市における将来都市像の把握

- 3-1 豊田市の交通課題と対応方策
- 3-2 都市交通政策の基本方針
- 3-3 都市交通政策のシナリオ分析
- 3-4 都市交通政策実施による効果3

第4章 都市交通政策の提案と本計画の推進

- 4-1 多様な主体と連携した取り組みの推進
- 4-2 都市交通政策の施策体系
- 4-3 個別施策の検討
- 4-4 都市交通関連計画への展開
- 4-5 共働による都市交通政策の推進

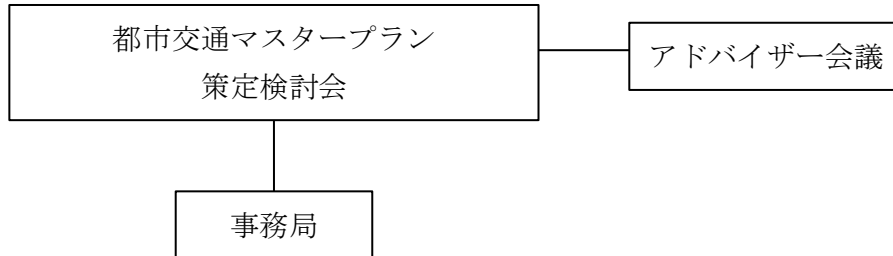
第5章 都市交通マスタープランの作成

第6章 検討会の開催運営支援

- 6-1 アドバイザー会議の開催運営
- 6-2 検討会の開催運営支援

第7章 豊田市PTデータ閲覧システム

3 調査体制



4 委員会名簿等

都市交通マスタープラン策定検討会

- 企画政策部 環境モデル都市推進課
- 社 会 部 交通安全防犯課
- 防災対策課
- 都市整備部 都市整備課
- 交通政策課
- 建 設 部 建設企画課
- 道路予防保全課
- 事 務 局 企画政策部 都市計画課

アドバイザー会議

- 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 松本 幸正 教授
- 名古屋大学 エコトピア科学研究所 山本 俊行 教授
- 事 務 局 豊田市役所 企画政策部 都市計画課

II 調査成果

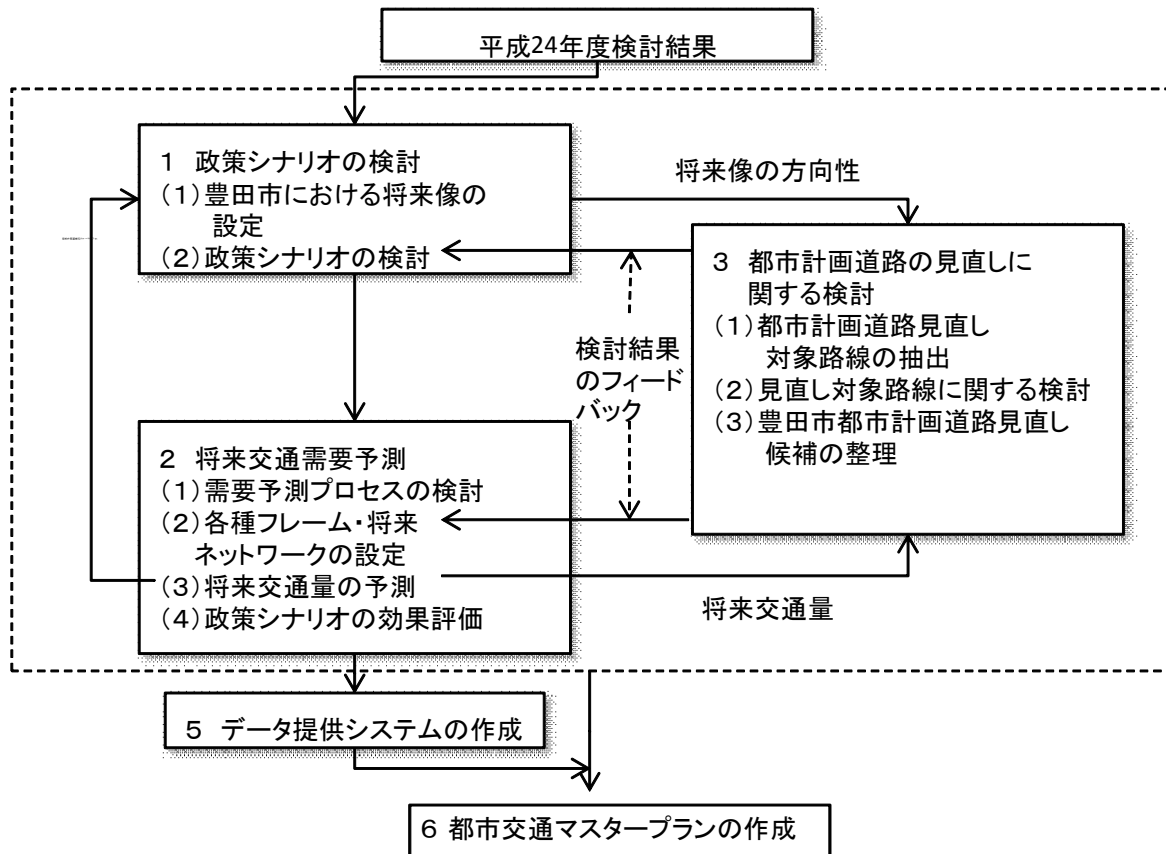
1 調査目的

豊田市では昭和46年の第1回中京都市圏パーソントリップ調査以来、パーソントリップ調査等のデータを活用し、豊田市における総合都市交通体系などの確立に努めてきた。今後においても、多核ネットワーク型都市構造及び緑につつまれた一体的市街地の確立、環境モデル都市としてふさわしい都市構造の確立を推進するために、社会経済情勢の変化や複雑多岐な交通問題への対応は重要課題であり、将来交通需要や土地利用計画を見据えた、新たなる総合的な都市交通施策の展開が望まれている。

このような状況の中、豊田市における交通施策を作成するための基礎資料として、平成23年度に実施された第5回中京都市圏パーソントリップ調査に合わせた実態調査を実施し、平成24年度から平成25年度にかけて、現況交通実態の把握（現況分析）と交通問題の取りまとめを行った。

平成26年度の業務では過年度の成果を踏まえて、将来交通需要予測、都市交通マスタープランの策定、パーソントリップデータ閲覧システムの整備を行った。

2 調査フロー



3 調査圏域図

調査対象圏域を以下に示す。

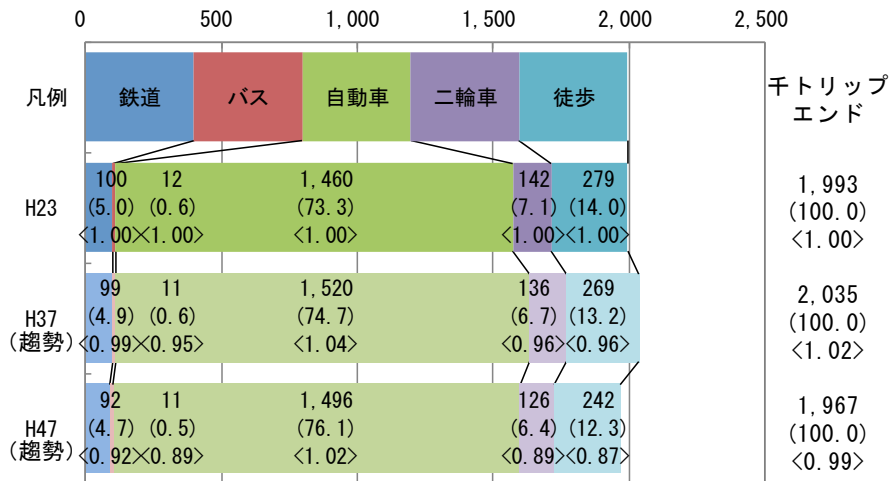


4 調査成果

4.1 将来交通需要予測

1) 将来交通需要予測結果

将来交通需要予測には、第5回中京都市圏パーソントリップ調査の需要予測モデルを用いた。その結果、豊田市では今後も自動車利用が増加し続け、公共交通利用は減少する結果が得られた。



()内は構成比 < >内は対H23比

図 豊田市全域の代表手段別発生集中量の推移

2) 地域別の将来交通需要予測結果

将来の地域別の交通特性を把握するために、下図のとおり人口密度や都市計画上の位置づけを踏まえて豊田市を4つの地域に分類して、各地域の交通状況を分析した。その結果、地域によって交通実態の様相が異なっており、地域の実情に応じた交通施策が求められることが判明した。

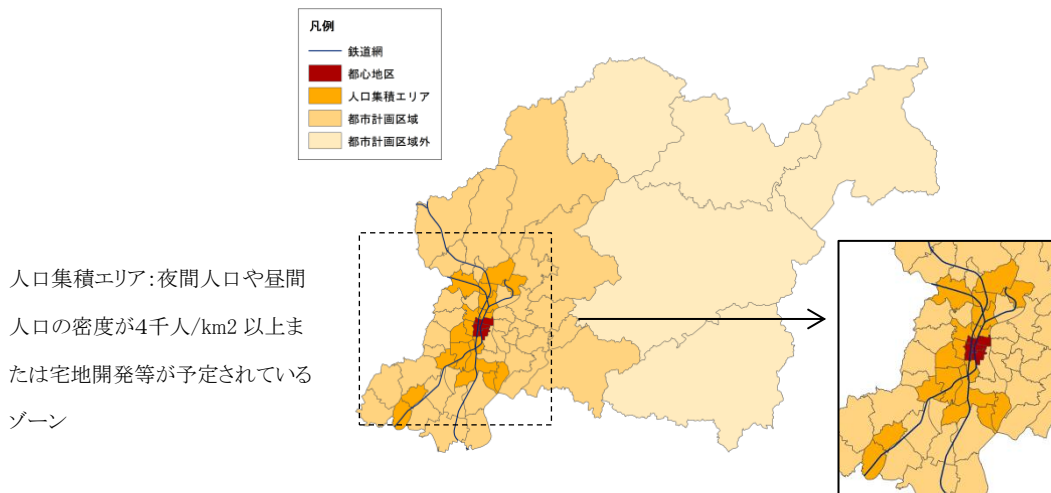


図 地域分類

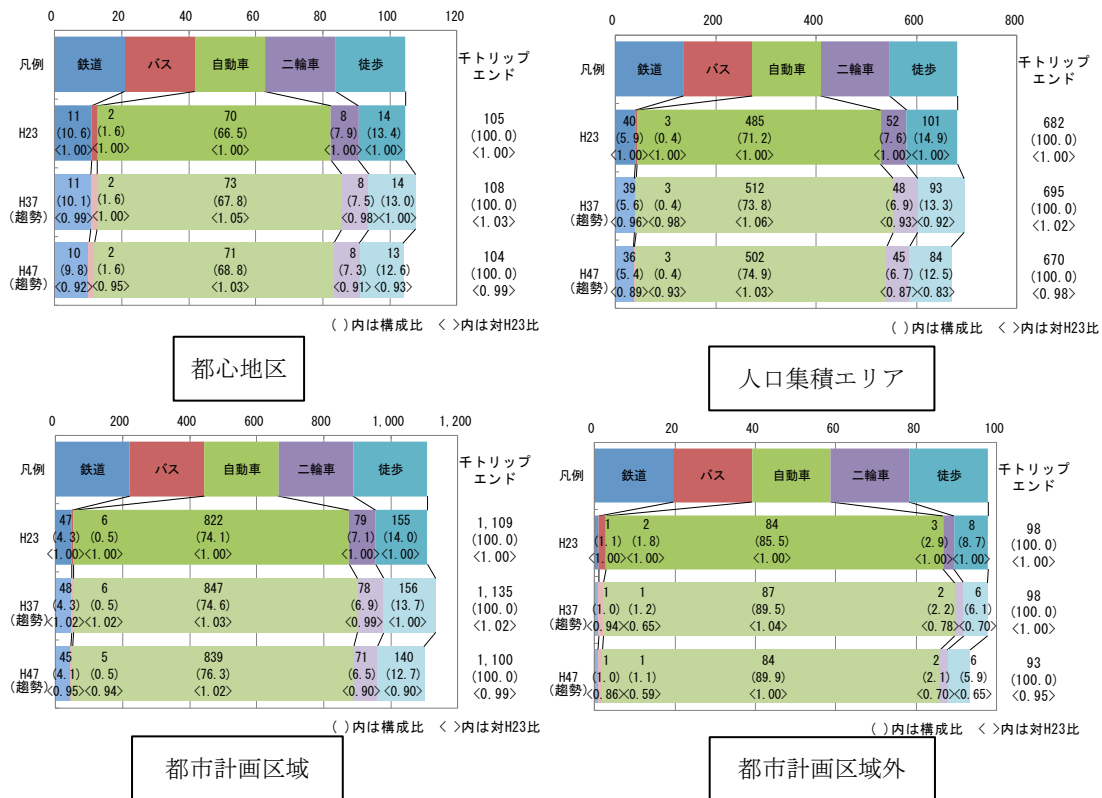


図 代表交通手段別発生集中量の推移（地域別）

4. 2 都市交通マスタープランの策定

1) 豊田市の交通課題と対応方針

豊田市における交通の現状や将来交通需要を分析し、交通課題および対応方針を整理した。

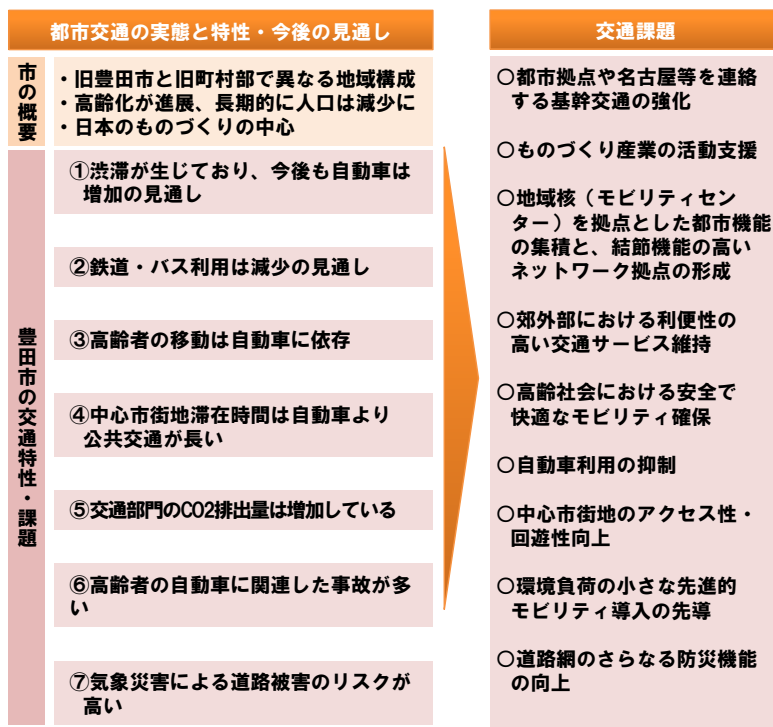


図 豊田市の交通課題

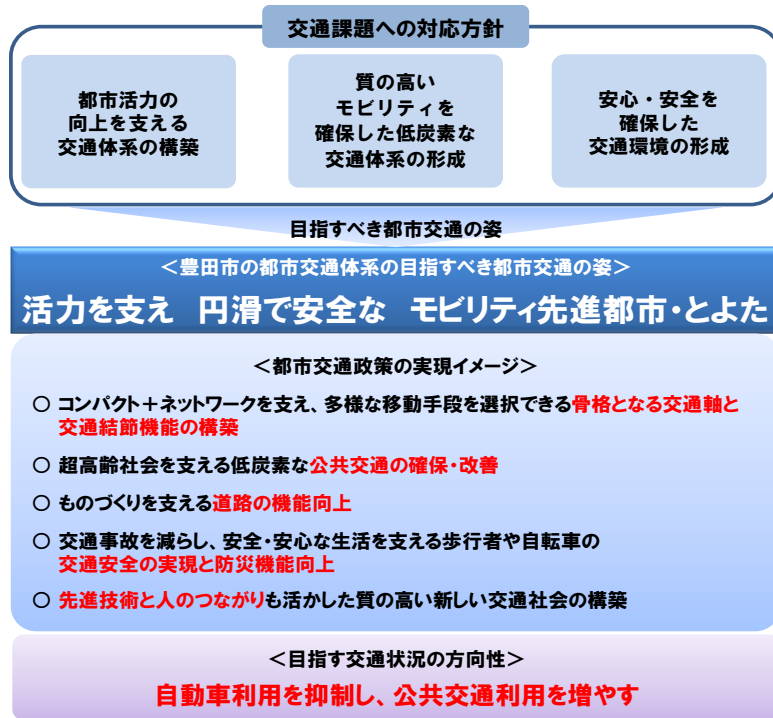


図 対応方針

2) シナリオ予測による都市交通政策の効果検証

豊田市の交通課題への対応方針をもとに、アプローチ対象を設定すると、「まちづくり」「交通」「生活」の3点に集約される。将来の豊田市において、目指すべき都市交通の姿を実現するために求められる取り組みを、将来交通需要予測モデルを用いたシナリオ予測により分析した。その結果、3つのアプローチで総合的に取り組むことで、「自動車利用の抑制」と、「公共交通利用の増加」の実現が可能であることが判明した。

都市交通政策		アプローチの対象		
		まちづくり	交通	生活
都市活力の向上を支える交通体系の構築	交流促進・都市機能強化・ものづくり支援のための幹線交通軸の構築	○	○	
	リニア開業に向けた関連圏との連携強化		○	
	人・クルマ・公共交通が共存する都市交通の形成		○	
質の高いモビリティを確保した低炭素な交通体系の形成	都市機能や生活機能が集積する拠点での複数の交通手段の連携強化	○	○	
	誰にでも使いやすく低炭素な移動環境の構築		○	○
	ICTを活用した利便性の高い交通体系の構築		○	○
安心・安全を確保した交通環境の形成	公共交通を自ら支える意識の向上			○
	事故対策・自転車歩行者通行環境整備の推進		○	
	ITSや超小型モビリティ等の先進技術を活用した自動車の普及促進		○	○
	交通インフラの防災機能の向上		○	

都市交通政策の3つのアプローチ

まちづくり

- ・都市拠点(都心、産業技術核、拠点地域核、地域核)や鉄道駅周辺に、都市機能や生活機能を集積または維持集約

交通

- ・道路整備(高速アクセス向上や都市内幹線道路整備)
- ・公共交通の維持・機能強化
- ・誰もが移動できる移動手段の確保
- ・災害に強い交通インフラの形成など

生活

- ・市民・企業・行政が連携して公共交通を支える行動の実践と意識の醸成
- ・次世代自動車の普及促進
- ・地域での支えあいによる共助の交通手段の確保

図 都市交通政策の3つのアプローチ

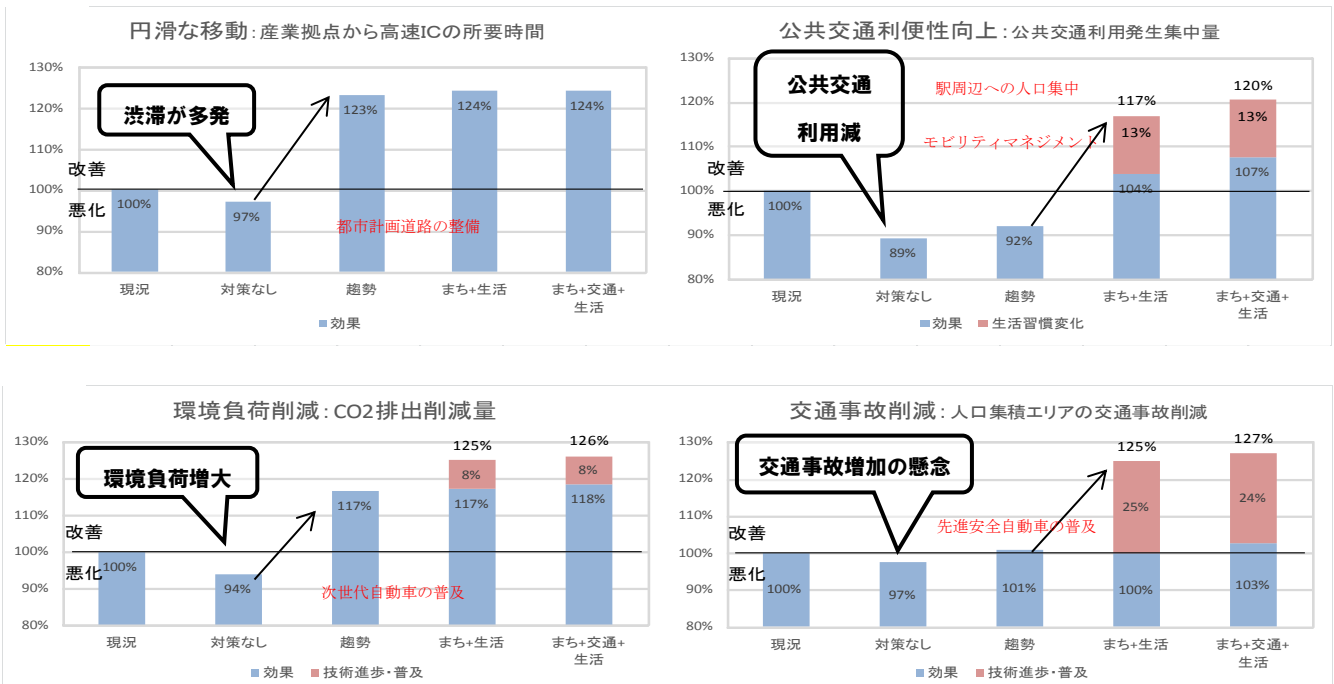


図 シナリオ予測による評価指標の変化 (H47)

4.3 パーソントリップデータ閲覧システム

1) データ提供システムの整備

豊田市役所内において将来予測の結果を利活用するため、将来予測の基礎的な集計結果等を整理したデータ集の冊子、将来交通に関する OD 表や基礎的な集計結果等を収録した閲覧システム (DVD 等) を作成した。具体的には、以下の内容の電子データを収録し、表計算ソフトや Web ブラウザ等で閲覧できるシステムを構築した。

① 地域別の集計

ゾーンや地区の単位で集計した、移動実態調査の結果の表示。

② 自動車交通量の閲覧

H23、H37、H47 各時点における自動車交通量及び混雑度を表示。

③ データのダウンロード

代表交通手段別発生集中量などのデータを csv ファイルでダウンロード可能。

④ 調査結果の概要

「パーソントリップ調査からみる豊田市における人の動き」(PDF) がダウンロード可能。



図 データ提供システム

2) マニュアル・手引き作成

構築した「パーソントリップデータ閲覧システム」の利用マニュアルを作成した。

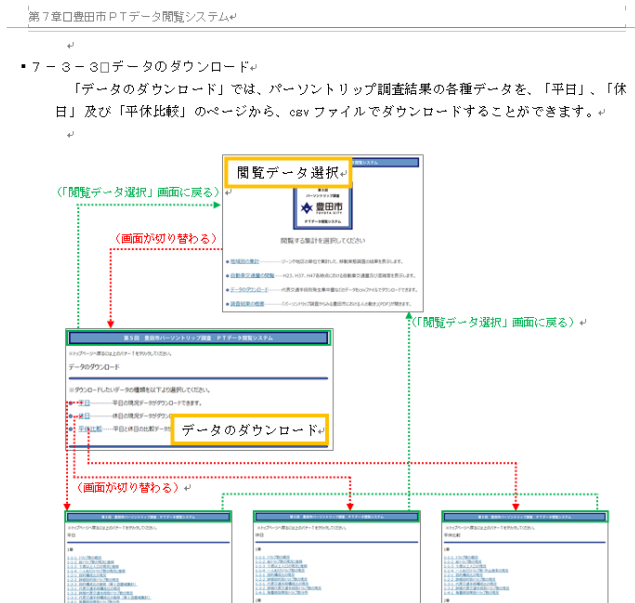


図 利用マニュアル (抜粋)